

令和4年3月19日（土）東京武道館第二武道場にて令和3年度 第2回四、五段審査会が行われました。

新型コロナウイルス感染予防対策をして無事に開催され終了致しましたこと、東京都剣道連盟、居合道部会役員、先生方、係員の皆様に心から感謝申し上げます。

合格者の皆様ご昇段おめでとうございます。

残念ながら不合格になれた皆様、次回まで集中して良い稽古を積まれて下さい。

結果

四段 受審者 48名 合格者 19名 合格率 39.6%（欠席者 1名）

五段 受審者 38名 合格者 12名 合格率 31.6%

指定技 3本目受け流し 6本目諸手突き 9本目添え手突き 11本目総切り

四段、五段共通ですが気が付いた点を記させていただきます。

まず礼法の乱れが目立ちました。

刀の持ちかえ方、刀の置き方など礼は心を込めて正しく丁寧に行うと良いでしょう。

正座の仕方などの所作も同様です。

指定技は3本目受け流しでは刃筋が正しくない方が多く見受けられました。

切り下ろした時左腰が引けている方もおられましたので、気剣体が一致するように稽古すると良いでしょう。

6本目諸手突きでは抜き打ち、突きの弱い方が見受けられました。

体捌きにもキレが出るように稽古されると良いでしょう。

9本目添え手突きでも抜き打ち、突きの弱さが目立ちました。

切り手の手の内を研究して指の締めを効かせると良いでしょう。

腰を入れることも大切です。

11 本目は刃筋の乱れが見受けられました。

右手に力が入っていますので左手中心で切り下ろされると良いでしょう。

全体的には姿勢、腰の入り、刀の跳ね上がり、体のグラつきなどが見受けられました。

刀の勢いや速さだけではなく、間の取り方、残心も四、五段審査では重要ですので、日頃の稽古で研究すれば重厚感のある演武を抜かれるようになるでしょう。

以上、今後皆様方の参考になれば幸いです。

金田和久